

交通安全を支える人びと

古くから交通の要衝地であった国見町。現代においても、国道4号をはじめ、東北自動車道、主要地方道や県道、広域農道など、多くの幹線道路が走っています。特に震災以降、復旧・復興の加速とともに交通量が著しく増加する中、「交通事故死者ゼロ5千日」の記録を達成できた背景には、町の交通安全を支える人々の地道で献身的な努力があります。



▲毎朝、通学路に立って子どもたちを見守る交通教育専門員の菊地政志さん。菊地さんが「おはよう」と声をかけると、何倍もの「おはようございます！」が返ってきます。

交通死亡事故ゼロ 5000 日達成の歩み

(平成 16 年 6 月 17 日事故発生)

500 日達成	平成 17 年 10 月 30 日
1000 日達成	平成 19 年 3 月 15 日
2000 日達成	平成 21 年 12 月 9 日
3000 日達成	平成 24 年 9 月 4 日
4000 日達成	平成 27 年 6 月 1 日
5000 日達成	平成 30 年 2 月 25 日

地域のみなさんや子どもたちとの朝のふれあいがやがいに

昨年4月から交通教育専門員として活動しています。1年間を振り返ると、天気が悪い日など大変に感じることもありますが、地域のみなさんがとても協力的で、子どもたちとのふれあいにもやりがいを感じています。5000日達成は素晴らしいことです。記録が長く続くように、私も頑張りたいと思います。

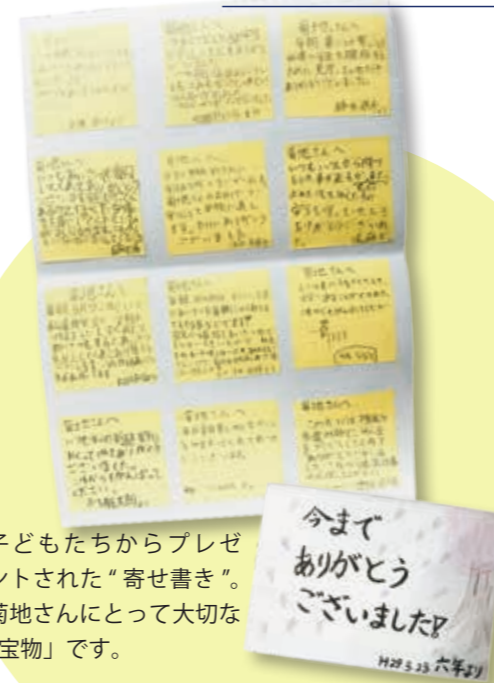


交通教育専門員 宍戸 加代さん



▲天気が悪い日もいつもと同じ笑顔で子どもたちを迎える宍戸さん

昨年3月、小学校を卒業する子どもたちから寄せ書きをもらったんです。そこにはたくさんの感謝の言葉がつづられていて、本当に嬉しかったです。



子どもたちからプレゼントされた“寄せ書き”。菊地さんにとって大切な「宝物」です。

菊地政志さんは、交通教育専門員として、現在に至るまで18年間にわたって毎朝通学路に立ち続け、子どもたちを見守ってきました。この間、一度たりとも事故が起きたことはありません。

菊地さんは「5000日」という数字を聞いてもピンときませんが、地域のみなさんの協力あってこそその結果であり、この記録がずっと長く続いてほしいと思います。今後も、1件でも事故が起きないように努力を続けていきます」と、決意を新たにしていました。



交通教育専門員 菊地 政志さん

オール国見で取り組んだ結果です！記録達成は町内外の交通安全関係団体のみなさんをはじめ、町民のみなさん、そしてドライバーのみなさん一人一人の高い交通安全意識のおかげです。まさにオール国見、オール福島で頑張った結果だと思います。



国見町交通安全母の会長 太田 栄子さん



▲交通安全母の会や交通安全協会では、関係機関と協力して交通安全教室や街頭啓発活動などを行っています。



▲看板を「5000日」に更新する交通安全協会の佐藤三男さん。交通安全協会では、交通安全啓発看板の設置や路面凍結時の融雪剤散布なども行っています。



桑折地区交通安全協会副会長 村上キミ子さん

記録にとらわれ過ぎず、自然体で

積み重ねてきた“5000日”という数字は、みなさん一人一人の協力によるものです。今後も、記録を意識しすぎることなく、今までどおり自然体で交通事故の撲滅に向けて尽力していきます。

“5000日”という記録は、長年にわたる交通安全関係団体の地道な活動や、私たち一人一人の交通安全への自覚と思いが結実し、導いた結果です。

しかし、それはゴールではありません。悲惨な交通事故をなくすためにも、今後も「オール国見」で交通安全運動に取り組み、また1日ずつ、記録を積み上げていきましょう。

『事故ゼロで 未来と笑顔に 100 点を』

平成 29 年度国見町小学生交通安全標語コンクール 最優秀賞 国見小 5 年 岩瀨心音さん

